

# Symphony

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE

2024  
JULY

No. 140

Sun. 7th July  
Tokyo Opera City Series

No. 722

Sat. 20th July  
Subscription Concert

No. 137

Sun. 21st July  
Niigata Subscription Concert

7



Jonathan Nott, *Music Director*



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

音楽監督	ジョナサン・ノット
桂冠指揮者	秋山和慶
	ユベール・スダーン
正指揮者	原田慶太樓
名誉客演指揮者	大友直人
永久名誉指揮者	アルヴィド・ヤンソンス ◆
	上田 仁 ◆
	遠山信二 ◆
名誉コンサートマスター	大谷康子
第1コンサートマスター	小林啓成
	グレブ・ニキティン
コンサートマスター	田尻 順

会長	澤田秀雄
理事長	岡崎哲也
副理事長	平澤 創
	依田 巽
専務理事	廣岡克隆
理事	阿部武彦 辻 敏
	池辺晋一郎 永山 治
	伊藤美樹 窪野 剛
	大橋 博 南部靖之
	コソジュンコ 福川伸次
	菅谷貴子 増岡聡一郎
	竹中平蔵 森 京子
監事	寺西基之
	渡邊芳樹
評議員長	金山茂人
最高顧問	梅沢一彦 星 久人
評議員	鷲海量明 山添 茂
	片山泰輔 芳野まい
	加藤英輔
特別顧問	飯島延浩
	草壁悟朗
	福田紀彦

【ハーブ奇想：環流ステーション株式会社】

### 1st Violins

- 木村正貴
- 堀内幸子
- 森岡ゆりあ
- 小川敦子
- 小山あずさ
- 立岡百合恵
- 土屋杏子
- 中村楓子
- 水谷有里
- 吉川万理

### 2nd Violins

- 清水泰明
- 服部亜矢子
- 加藤まな
- 福留史純
- 阿部真弓
- 河堀あずさ
- 鈴木浩司
- 竹田詩織
- 辻田薫り
- 坂井みどり
- 塩谷しずか
- 渡辺裕子

### Violas

- 青木篤子
- 武生直子
- 西村真紀
- 多井千洋
- 山廣みほ
- 小西応興
- 鈴木まり奈
- 永井聖乃
- 新井瑞穂\*
- 金田晃司\*

### Cellos

- ☆伊藤文嗣
- ☐笹沼 樹
- 川井真由美
- 内山剛博
- 蟹江慶行●
- 樋口泰世
- 福崎茉莉子

### Double Basses

- ☐助川 龍
- コーディネーターズーム
- 北村一平
- 久松ちず
- 安田修平
- 渡邊淳子

### Flutes

- 相澤政宏
- 竹山 愛

### Flutes & Piccolos

- 高野成之
- 濱崎麻里子

### Oboes

- 荒 絵理子
- 浦脇健太
- 荒木良太\*

### Oboe & English horn

- 最上峰行

### Clarinets

- エマニュエル・ヌヴー
- 吉野亜希菜
- 近藤千花子
- 小林利彰

### Bassoons

- 福士マリ子
- 福井 蔵
- 坂井由佳
- 前関祐紀

### Horns

- 上間善之
- 加藤智浩
- 満根伸吾
- 白井有琳\*

### Trumpets

- 澤田真人
- 野沢岳史●
- 松山 萌
- ローリー ディラン\*

### Trombones

- 大馬直人
- 鳥塚心輔
- 住川佳祐

### Bass Trombone

- 藤井良太

### Tuba

- 近藤陽一

### Timpani & Percussions

- 清水 太
- 山村雄大
- 武山芳史
- 綱川淳美
- 新澤義美

### Librarians

- 林 知也
- 加藤幸子

### Stage Managers

- 西岡理佐
- 山本 聡

### 楽団団員

- 井伊 準◆

### 楽団長

- 廣岡克隆

### 編成局シニア・ディレクター

- 藤原 真

### パーソネル・マネージャー

- 謝名元 民

### 楽団委員

- 小西応興 (議長)
- 福留史純 (書記)
- 清水泰明
- 多井千洋
- 北村一平
- 藤井良太

### 事務局長

- 辻 敏

### 事務局

- 市川萌都
- 伊藤瑛海
- 榎 日向
- 小川博司
- 尾木貴雄
- 桐原美砂
- 高瀬 緑
- 竹内裕子
- 長久保宏太郎
- 山田道子
- ☐櫻川純子
- 三橋真琴\*

### 名誉団友

- 深江泰輔 ◆
- 三木晴雄 ◆

### 団友

天野佳和	佐々木真
新井 汎	藤崎 隆
安藤史子	菅野明彦
池田 肇	杉浦直基
石川晴依世	鈴木一輝
今村和弘	岸澤英雄
岩澤淳子	曾根敦子
上原正二	武田英昭
上原規照	田中真輔
上原木利	千村雅信
内田彬雄	十嵐正司
内田乃例子	豊山 悟
宇部 実	中塚和良
梅田 学	中塚博則
大隈雅人	中山 智
大塚正昭	西依智子
大基良男	西脇秀治
大和田浩明	野村真澄
大和田ルース	馬場隆弘
小川さえ子	原田保子
萩野 晃	日野 奏
柴田昌史	ペアンチ・
音川優二	ボーマン
加藤谷直美	前田健一郎
笠原尚二	松崎里絵
加藤信吾	丸山正昭
金澤 茂	三浦正信
久保田一穂	宮原祐子
熊谷仁士	宮本直樹
黄原亮司	睦
小林照雄	森みさ子
小林亮子	諸橋健久
阪本正彦	渡辺 功
佐川聖二	渡辺信郎

☆ソロ首席奏者 ●首席奏者 ☐客演首席奏者 ○フォアシュペラー ●インスペクター  
■本部長 ☐シニア・ディレクター \*研究員・準事務局員 ◆故人

# 演奏会でのお願い

## Concert Manner Guide



### チケットに記載された 座席でご鑑賞ください

チケットに記載されている座席番号にのみ有効です。座席移動はご遠慮ください。

Please be seated at the seat number designated on your ticket.



### 開演前に電子機器の 電源はOFFに

マナーモードにしても振動する音が響きますので、電源は必ず切るようにしましょう。

Switch OFF your mobile telephones, wristwatch alarms and all other noise-emitting electronic devices before the performance begins.



### 補聴器の確認を

ご使用のお客様は、きちんと装着されているか今一度お確かめください。

For our guests who wear hearing aid devices, please check that your device is suitably set before the performance begins.



### 周囲の視界を遮るような 行為はやめましょう

身を乗り出している鑑賞や、つばの広い/高さのある帽子は脱いでご鑑賞ください。リズムをとる行為もおやめください。

Please refrain from wearing hats or rhythmically swaying in a way which could disturb or obstruct the view of those seated near you.



### 開演後の入場を 制限させていただきます

開演後のご入場は制限させていただきます。

You will not be permitted to enter the concert hall during a performance.



### 演奏中の飲食は ご遠慮ください

のど飴等の包み紙を開ける音は、場内に響きますのでご遠慮下さい。

Refrain from eating and drinking during the performance.



### 演奏中はお静かに

手荷物につけている鈴やビニール袋等は音を立てないようにご配慮下さい。演奏中の私語、プログラムやスコア等紙類をめくる音、かばんのチャック等をさわる音も思っている以上に場内に響きます。

Please be silent during the performance.



### 咳、くしゃみをする際は ハンカチで押さえましょう

ハンカチをあてがうことで音量はかなり軽減されます。

Please use a handkerchief to help suppress the noise from any coughing or sneezing.



### 曲の余韻も 演奏のうちです

音が消えゆく余韻を十分に感じてから拍手をお送りください。

The lingering sounds and moments are part of the performance. Please hold your applause or shouting your appreciation until the actual end of the performance.



### カーテンコールを除いて、ホール内での録音・録画・写真撮影は禁止です

終演後のカーテンコールの撮影は、自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

※前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません。

※スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用、フラッシュの使用、目線より高い位置での撮影はご遠慮ください。

Photography, filming and recording are prohibited, but it is permitted to film the curtain call after the concert. Photography is not permitted at the end of the first half or during encore performances. Please refrain from taking pictures with cameras other than smartphones and mobile phones, using selfie sticks, using flash, and taking pictures at eye level or higher.

7/7 SUN.

## 東京オペラシティシリーズ 第140回

2024年7月7日(日) 14:00 東京オペラシティコンサートホール

## Tokyo Opera City Series No.140

Sun. 7th July 2024, 14:00 Tokyo Opera City Concert Hall

大友直人 [指揮]  
フセイン・セルメット [ピアノ]  
グレブ・ニキティン [コンサートマスター]

OTOMO Naoto, Conductor  
Hüseyin SERMET, Piano  
Gleb NIKITIN, Concertmaster

バルトーク:ピアノ協奏曲 第2番  
Sz.95 (26')

I.アレグロ  
II.アダージョ  
III.アレグロ・モルト

休憩(20')

エルガー:交響曲 第1番 変イ長調  
op.55 (50')

I.アンダンテ  
II.アレグロ・モルト  
III.アダージョ  
—モルト・エスプレッシヴォ・エ・ソステヌート  
IV.レントーアレグロ

BARTÓK B:Piano Concerto No.2  
Sz.95 (26')

I. Allegro  
II. Adagio  
III. Allegro molto

Intermission (20')

E. ELGAR: Symphony No.1 in A-flat  
major op.55 (50')

I. Andante  
II. Allegro molto  
IV. Adagio  
— Molto espressivo e sostenuto  
V. Lento—Allegro

- 主催/公益財団法人東京交響楽団
- 助成/文化庁文化芸術振興費補助金舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)|独立行政法人日本芸術文化振興会
- 後援/トルコ・日 外交関係樹立100周年

楽曲解説はP.06をご覧ください



7/7 SUN.



©Rowland Kirishima

# OTOMO Naoto

Conductor

## 大友直人

[指揮]

Honorary Guest Conductor  
名誉客演指揮者

桐朋学園在学中にNHK交響楽団を指揮してデビュー以来、日本のクラシック音楽界をリードし続けている。これまでに日本フィル正指揮者、大阪フィル専属指揮者、東京交響楽団常任指揮者、京都市交響楽団常任指揮者、群馬交響楽団音楽監督を歴任。現在東京交響楽団名誉客演指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団音楽監督、高崎芸術劇場芸術監督、東京文化会館の初代音楽監督として東京音楽コンクールの基盤を築いたほか、海外オーケストラからも度々客演として招かれ、ハワイ響においては20年以上にわたり定期的に招かれている。小澤征爾、森正、秋山和慶、尾高忠明、岡部守弘らに学ぶ。NHK交響楽団指揮研究員時代にはサヴァリッシュ、ヴァント、ライトナー、プロムシュテット、シュタインらに学び、タングルウッドミュージックセンターではバーンスタイン、プレヴィン、マルケヴィチらにも指導を受けた。大阪芸術大学教授、東邦音楽大学特任教授。京都市立芸術大学、洗足学園大学各客員教授。

Since his debut with the NHK Symphony Orchestra at the age of 22, Otomo has led the highly competitive music scene of Japan. He currently serves as Music Director at the Ryukyu Symphony Orchestra (Okinawa) and Artistic Director of Takasaki City Theatre, and previously held the posts of Principal Conductor/Music Director at the Japan Philharmonic, Tokyo, Kyoto and Gunma Symphony Orchestras and Osaka Philharmonic. Otomo has appeared repeatedly with the Royal Stockholm Philharmonic Orchestra, National Symphony Orchestra of Romania, Indianapolis Symphony, Hawaii Symphony, and he led the Philharmonia Orchestra on its tour to Japan. Otomo has performed with numerous world-renowned soloists, such as Radu Lupu, Mikhail Pletnev, Frank Peter Zimmermann, Nobuko Imai, Mstislav Rostropovich, among the others. Well-known for his wide repertoire ranging from classical to contemporary works, Otomo has premiered numerous new works, conducting especially the first performances in Japan of several pieces by James MacMillan and the opera "A Flowering Tree" by John Adams. He was also awarded for his performance of Italian premier of Shigeaki Saegusa's Jr. Butterfly at the Puccini Festival.



©MaHennek

# Hüseyin SERMET

Piano

フセイン・セルメット  
【ピアノ】

現代における最も卓越したピアニストの一人。ソリストとして、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、バイエルン放送交響楽団、パリ管弦楽団などの世界主要オーケストラの他、ロリン・マゼール、アントル・ドラティ、ミシェル・プラッソンなど名だたる指揮者と共演。

録音活動も活発で、いくつものレーベルに録音を残し、マリア・ジョアン・ピリスとのシューベルトの連弾作品集をはじめ、作品の多くが主要な賞を受賞。ホセ・イトウルビ国際ピアノコンクール、エリザベート王妃国際音楽コンクール、ゲザ・アング国際ピアノコンクールなど多くのコンクールで受賞。

彼の音楽は、パリ・エコール・ノルマル音楽院時代にはティエリ・ド・ブリュンホフ、ナディア・ブーランジェ、オリヴィエ・メシアンから、ロンドン時代はマリア・グルチオから大きな影響を受けている。

2009～10年NHK「スーパーピアノレッスン」に講師として出演。

Hüseyin Sermet is widely regarded as one of the most exceptional pianists of our time, celebrated for his extraordinary lyricism and meticulous attention to detail. As a soloist, he has performed with major orchestras worldwide, including the London Philharmonic, Bavarian Radio Symphony, and Orchestre de Paris. He has collaborated with conductors such as Lorin Maazel, Antal Doráti, and Michel Plasson. Many of Sermet's recordings for Naïve, harmonia mundi, and Erato labels have won major prizes, including a selection of Schubert's works for four hands with Maria João Pires. He received many awards at several competitions, including José Iturbi, Queen Elizabeth, and Geza Anda. According to Sermet, his musical journey was significantly influenced by Thierry de Brunhoff, Nadia Boulanger, and Olivier Messiaen during his time at the Ecole Normale de Musique de Paris, and by Maria Curcio in London.

7/7 SUN.

バルトーク・ペーラ(1881～1945)

## ピアノ協奏曲 第2番 Sz.95

バルトークは当時オーストリア＝ハンガリー二重帝国領内、現ルーマニア領の小さな町に生まれた。父を早く亡くしピアノ教師の母の手一つで育てられた彼は、この母からピアノを学んだ。ブダペスト王立音楽院卒業後、1907年に母校の教師に就任。同年から民俗音楽の現地調査を開始し、多くの民謡、舞曲などを採譜する。初期にはその素材を直接用いた小曲を量産していたが、やがて、素材の科学的分析に基づく独自の音楽語法を確立すると作風は変化し、ピアノ作品も抽象性の強い絶対音楽としての大作へと転じた。3曲あるピアノ協奏曲のうち第1番は、その作風変換期1926年にピアノ・ソナタ他と共に生み出された。作品中でも屈指の傑作の誉れ高い第2番は、創作の絶頂期へと向かう1930年8月～31年9月に、自身のヨーロッパ各都市への演奏旅行用として作曲された。第1番で試みられたピアノの打楽器的用法がさらに拡大される一方、短く断片的な旋律に対して、二度、四度、五度などの民族色の濃厚な和音堆積と推進力あふれるリズム進行が前面に押し出された作品で、巨大なエネルギーの内包を強く感じさせている。

**第1楽章 アレグロ**：ト調、3/4拍子。いきなりピアノの律動的な主題に始まってトランペットのファンファーレが応え、木管も加えてピアノが凶暴なまでに力強い主題を打楽器風に弾き進んでいく。弦は終始沈黙する。

**第2楽章 アダージョ**：4/4拍子～プレスト、2/4拍子～アダージョ、4/4拍子、ハ調。弱音器付き弦楽器が完全五度の三重音で平行移動し、ヴィヴラート無しで神秘的なコラールを弱奏する。突如2拍子のスケルツォ風中間部に入りピアノが頂点を築く。最後にアダージョが再現される。

**第3楽章 アレグロ・モルト**：2/4拍子。第1楽章のモチーフを変形させて用いた Rond 風フィナーレ。バルトーク自身は「第1楽章の自由な変奏」と説明した。白熱的に盛り上がり、最後は曲の基調ト音で終わる。

萩谷由喜子 Text by HAGIYA Yukiko

作曲：1930年8月～31年9月

初演：1833年1月23日フランクフルト、作曲者自身の独奏、ハンス・ロスバウト指揮。

編成：独奏ピアノ（バーゼンドルファー・インペリアル用に使われているため、それ以外のピアノではF2、G2、Gis2が演奏できない。その場合はオクターヴ上げるか、その音を省略する）、ピッコロ（フルート持替1）、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、コントラ・ファゴット（ファゴット持替1）、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、バス・チューバ1、ティンパニ、小太鼓、小太鼓、大太鼓、シンバル、弦5部

エドワード・エルガー (1857～1934)

## 交響曲 第1番 変イ長調 op.55

ウースター・ソースの発祥地ウースターはロンドンの北西約180キロ、セヴァーン川東岸の静かな田園都市だ。エドワード・エルガーはこの街の西郊外ブロードヒースに楽器店主兼教会オルガニストを父として生まれた。一般教育を終えたあと父の店を手伝いながら小さな音楽教室を開き、陸軍少将の娘キャロライン・アリス・ロバーツと1889年に結婚する。結婚後も長らく不遇であったが、アリスは夫の雑務を一手に引き受け、献身的に夫を支えた。その甲斐あってか、1899年の『エニグマ変奏曲』の成功によって彼は42歳にしてついに世に出た。交響曲第1番はその9年後の1908年、51歳のときに完成させたもので、同年12月3日、ハンス・リヒター指揮のハレ管弦楽団によってマンチェスターで初演されリヒターに献呈された。曲は遅咲きの作曲家が満を持して発表しただけあって、緊密な構成を持ち、魅惑的な楽想が詰まった佳品で、リヒターはこれを「当代最高の交響曲」と評し、初演後わずか1年のうちに欧米各地で100回あまり再演されるほどの人気を呼んだ。現在も世界各国でしばしば演奏されている。

**第1楽章 アンダンテ・ノビルメンテ・エ・センプリチェ・アレグロ**：変イ長調から二短調、4/4拍子。冒頭の序奏主題が全曲の循環主題として用いられ、ここから派生したモチーフが全曲の随所に現れる。

**第2楽章 アレグロ・モルト**：嬰へ短調、1/2拍子。弦楽器と金管楽器が動き回る主部と、独奏ヴァイオリンと木管楽器が歌う変ロ長調の中間部からなる。

**第3楽章 アダージョ～モルト・エスプレシーヴォ・エ・ソステヌート**：二長調、4/8拍子。抒情的な楽想が歌われる美しい緩徐楽章。前後2部形式。

**第4楽章** 序奏はレント、二短調、4/4拍子、主部はアレグロ～グランディオーソ、2/2拍子。バス・クラリネットによる導入後、循環主題が示され、付点リズムの第1主題、行進曲調の第2主題によるソナタ形式で進む。最後は堂々と曲を閉じる。

萩谷由喜子 Text by HAGIYA Yukiko

作曲：1907～08年

初演：1908年12月3日マンチェスターのフリートレードホールにて、ハンス・リヒター指揮、ハレ管弦楽団

編成：フルート3(ピッコロ持替1)、オーボエ2、イングリッシュホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、バス・チューバ1、ティンパニ、小太鼓、大太鼓、シンバル、ハープ2、弦5部



7/20 SAT.

## 第722回 定期演奏会

2024年7月20日(土) 18:00 サントリーホール

## Subscription Concert No.722

Sat. 20th. July 2024, 18:00 Suntory Hall

## 第137回 新潟定期演奏会

2024年7月21日(日) 17:00 りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

## Niigata Subscription Concert No.137

Sun. 21st. July 2024, 17:00 Ryutoopia Concert Hall

ジョナサン・ノット [指揮]  
小林 啓成 [コンサートマスター]Jonathan NOTT, Conductor  
KOBAYASHI Issey, Concertmaster

## ラヴェル:クープランの墓(17')

- I. 前奏曲
- II. フォルラーヌ
- III. メヌエット
- IV. リゴドン

休憩(20')

## M. RAVEL: Le Tombeau de Couperin (17')

- I. Prelude
- II. Fugue
- III. Menuet
- IV. Rigaudon

Intermission(20')

ブルックナー:交響曲 第7番 ホ長調  
WAB107<ノヴァーク版>(64')

- I. アレグロ・モデラート
- II. アダージョ
- III. スケルツォ
- IV. フィナーレ

A. BRUCKNER: Symphony No.7 in E major,  
WAB107 (Nowak edition) (64')

- I. Allegro moderato
- II. Adagio
- III. Scherzo
- IV. Finale

- 主催 / 公益財団法人東京交響楽団(7/20)、公益財団法人新潟市芸術文化振興財団(7/21)、UX新潟テレビ21(7/21)
- 助成 / 文化庁文化芸術振興費補助金舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動) | 独立行政法人日本芸術文化振興会(7/20)、文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会(7/21)
- 後援 / 在日スイス大使館、ブリティッシュ・カウンシル

※新潟定期演奏会は、新潟市からの補助金の交付を受けて実施しています。

楽曲解説はP.10をご覧ください





© K. Miura

# Jonathan NOTT

Conductor

ジョナサン・ノット  
[指揮]

Music Director  
音楽監督

東京交響楽団第3代音楽監督。イギリス生まれ。フランクフルトとヴィースバーデンの歌劇場で指揮者としてのキャリアをスタートし、ルツェルン響首席指揮者兼ルツェルン劇場音楽監督、EIC音楽監督、バンベルク響首席指揮者を経て、2017年よりスイス・ロマンド管音楽監督も務める。抜群のプログラミングセンスと古典から現代曲まで幅広いレパートリーで、主要オーケストラ・音楽祭に客演。2010年バンベルク響とのCDが、世界で権威ある仏Midem音楽賞最優秀交響曲・管弦楽作品部門賞受賞。2009年バイエルン文化賞受賞。2016年バンベルク大聖堂にて大司教より功労勲章を授与。東響とともに2020年「ミュージック・ペンクラブ音楽賞(オペラ・オーケストラ部門)」を、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」、毎日クラシックナビ「公演ベスト10」において、R.シュトラウス・コンサートオペラシリーズ《サロメ》、《エレクトラ》をベストコンサートに導く。レコーディング活動でも多彩な才能を発揮し、ウィーン・フィルやベルリン・フィルとの録音のほか、東響とはオクタヴィアレコードより多くのCDをリリースしている。

Among today's renowned and interesting conductors, Jonathan Nott, is probably the most fascinating. His unique talent unites what appear to be irreconcilable opposites, creating deeply emotional yet gratifyingly intellectual interpretations, connecting to his musicians at the very humblest level, and bringing an unusual depth of analysis and spontaneous, heartfelt music-making, both in the symphonic and operatic repertoires, and in the field of contemporary music in all areas of music. As Music Director of the Tokyo Symphony Orchestra, he enjoys near Popstar status, due not only to his intense and explosive aura while performing but also to his unusual programming creativity. Together with the TSO, he won "BEST CONCERT 2023" by Ongaku-no-tomo and "Best 10" by Mainichi Classical Navi for the concert opera series of R. Strauss "Salome" and "Elektra" as well as the 2020 Music Pen Club Japan Award. Unsurprisingly, he has conducted all major orchestras, performed with almost all famous soloists, and enjoys a long list of award-winning multi-channel recordings with TUDOR, SONY, PENTATONE and OCTAVIA.

## 7/20 SAT.

モーリス・ラヴェル(1875～1937)

## クープランの墓(管弦楽版)

1914年に第一次大戦が勃発したとき、小柄で虚弱体質のモーリス・ラヴェルは兵役を免除されていたが、愛国心に駆られてパイロットを志願する。だが、不採用となると、軍用トラックの運転手に採用してもらい苛酷な前線を経験した。彼は生還するが、何人もの友人が戦争で命を落とし、同時期に母も世を去った。逝きし人々に深い哀悼の意を抱いた彼は、それぞれ亡き人を偲ぶ6曲のピアノ小品を書いて組曲にまとめ上げ、フランス・バロック最大の作曲家フランソワ・クープラン(1668～1733)の偉業の記念碑(トンボー)という意味合いから『クープランの墓』のタイトルを冠した。1919年4月11日の初演では、20世紀フランスを代表する名ピアニストで、第6曲「トッカータ」を捧げられた故マルリアーヴ大尉の妻マルグリット・ロンが独奏した。この6曲構成のピアノ組曲から、ラヴェル自身が4曲構成のオーケストラ用に編曲したのが本日演奏される管弦楽版である。第2曲「フーガ」と第6曲「トッカータ」を割愛して前奏曲以外は舞曲で統一し、「メヌエット」の前にあった「リゴードン」が終曲に回されている。

**第1曲〈前奏曲〉**：「ジャック・シャルロ陸軍中尉の思い出に」。クープラン風のバロック的な装飾に彩られた前奏曲。16分音符楽句が無窮動風に続く。

**第2曲〈フォルラーヌ〉**：「ガブリエル・ドリュック陸軍中尉の思い出に」。フォルラーヌは北イタリアを起源とする付点リズムによる舞曲。揺らめくようなリズムと洗練された雰囲気を持つ。

**第3曲〈メヌエット〉**：「ジャン・ドレフェスの思い出に」。気品にみちた優美なメヌエット。

**第4曲〈リゴードン〉**：「ピエール、およびパスカルのゴードン兄弟の思い出に」。故ゴードン兄弟と妹マリーを含めた3人はラヴェルの幼馴染であった。リゴードンはプロヴァンス発祥の快活な舞曲だが、この舞曲によって兄弟を偲んだのは、「マリー・ゴードン」の名から着想したためともいわれる。

萩谷由喜子 Text by HAGIYA Yukiko

作曲：[オリジナルのピアノ組曲] 1914～17年、[管弦楽版] 1919年

初演：[オリジナルのピアノ組曲] 1919年4月11日、マルグリット・ロン独奏  
[管弦楽版] 1920年2月28日、ルネ・パトン指揮、パドルー管弦楽団

編成：フルート2、オーボエ2、イングリッシュホルン、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット1、ハープ、弦5部

アントン・ブルックナー(1824～1896)

## 交響曲 第7番 ホ長調 WAB107〈ノヴァーク版〉

今年生誕200年を迎えたアントン・ブルックナーは、今でこそ交響曲創作を語る上で避けることのできない作曲家のひとりだ。しかし、このオーストリアの作曲家が生前評価されるようになったのは60歳を過ぎてからだった。そのきっかけとなった交響曲第7番が初演された1884年12月30日を、伝記作家たちは「ブルックナーの世界的名声の誕生日」と表す。

当時、ウィーン音楽界はブルックナーに冷たく、その交響曲がウィーンで演奏される可能性は低かった。そこでブルックナーの教え子たちはオーストリア国外に目を向け、ライプツィヒで指揮者をしていたアルトゥール・ニキシュに第7番の初演を委ねた。初演(ワーグナー・テューバ代用)と翌年3月のミュンヘンでの演奏(ワーグナー・テューバ有り)は、交響曲作曲家としてのブルックナーの名前を広めることになった。

ブルックナーは成功作となった第7番を書き換えなかった。しかし、教え子やニキシュのアイディアで採り入れられた第2楽章の打楽器の有無はローベルト・ハースやレオポルト・ノヴァークといった音楽学者によって解釈が分かれる。

**第1楽章**は広々とした主要主題に始まり、軽やかな副次主題、蠢くような結尾主題が様々に展開される。楽章内で唯一ティンパニが使われるコーダも雄大。荘厳な**第2楽章**ではワーグナー・テューバとヴィオラの哀歌に弦楽器群の穏やかな祈りが続く。楽章の頂点では(ノヴァーク校訂版の場合)打楽器が鳴り響く。その後のワーグナー・テューバとホルンの慟哭は83年2月に亡くなったワーグナーへの追悼音楽。スケルツォの**第3楽章**はトランペットの主題が印象的。**第4楽章**では、跳ね回る主要主題、コラル風の副次主題、重々しい結尾主題が後半で逆順に現れ、巨大なアーチ構造を作り出す。主要主題が第1楽章主要主題へ還元され、交響曲全体を輝かしく終える。

国外で高く評価された第7番をウィーン・フィルが初めて演奏しようとした時、ブルックナーはそれを拒否した。第7番はブルックナーにとって出世作であると同時に、伏魔殿ウィーンへの反撃の狼煙であるのかもしれない。

石原勇太郎 Text by ISHIHARA Yutaro

作曲: 1881年9月～83年9月

初演: 1884年12月30日 ノイエス・テアター(ライプツィヒ)、アルトゥール・ニキシュ指揮、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団。

編成: フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、ワーグナー・テューバ4、トランペット3、トロンボーン3、バス・テューバ1、ティンパニ、シンバル、トライアングル、弦5部

# 大友直人と エルガー

長谷川京介(音楽評論家)

## 大友のエルガー演奏歴

幅広いレパートリーを誇る大友直人だが、演奏歴を見ると英国音楽、中でもエルガーが多いことに気づく。特に1992年4月から20年にわたり大友自身がプロデュースした「東京芸術劇場シリーズ」では、東京交響楽団、東響コーラス、ソリストとともに、エルガーの4つのオラトリオすべてを取り上げ、大きな注目を集めた。

「神の国」(2002年)、「使徒たち」(2004年/日本初演)、「ゲロンティアスの夢」(2005年)、「生命の光」(2010年/日本初演)は『いずれも大友のエルガーに対する深い共感を明らかにする卓越した演奏』(岡本稔氏)と高い評価を受けた。

日本でのエルガー演奏が交響曲や管弦楽作品、チェロ協奏曲に傾く中、イギリス音楽の伝統であり、エルガーの中核を占める合唱曲を積極的に紹介した大友の功績は大きい。

その他に1990年から最近まで大友が東響と手がけたエルガーの主な作品は、交響曲第1番1回、第2番3回、弦楽セレナード5回、チェロ協奏曲3回、序曲「コケイン」2回、エニグマ変奏曲1回のほか、行進曲「威風堂々」は第1番の29回(!)をはじめ全6曲(ペイン補筆版第6番日本初演を含む)を演奏している。

東響以外では交響曲第2番を群響と2回(2020年)、京響、九響と各1回(2022年)、弦楽セレナードを大阪フィルと1回(2019年)演奏しているが、ほかにもまだあるかもしれない。

## 大友のエルガーの特徴

演奏歴から見た印象とは異なり、大友本人は他の作曲家と較べてエルガーを特別多く取り上げてきたという認識はないと語る。指揮しなければならない作品は数多く、日々新たなレパートリーに挑戦する指揮者としては、それが実感なのだろう。

とは言え、大友が指揮するエルガーへの評価は高く、演奏も素晴らしいことは、昨年東響を指揮した交響曲第2番の配信映像や、その際に録音されたCDを視聴すればよくわかる。

第1楽章はしなやかで優美、情熱的な大友の指揮がエルガーとよく共鳴する。第2楽章は高貴な悲しみに包まれ、荘厳で格調高い葬送行進曲となっている。第3楽章は焦燥と憂愁の波が激しく押し寄せてくる。終楽章のコーダはエルガーの言葉どおり「荘重で光り輝くばかりの静けさ」が余すところなく表現される。

エルガーは譜面にしばしば「ノビルメンテ」(気高く、高貴に、上品に)という発想標語を書き込んでいるが、この言葉は大友の音楽性にもそのまま当てはまるのではないだろうか。エルガーへの愛とリスペクトを感じさせる高貴な演奏は、大友の真骨頂とも言えるだろう。

## 26年ぶりの大友のエルガー「交響曲第1番」への期待

エルガーが50歳にして満を持して作曲した交響曲第1番は初演の指揮者ハンス・リヒターが「今日における最も偉大な交響曲の練習を始めましょう」と話したエピソードでも知られる。初演から熱狂的な喝采で迎えられ、1年余りでイギリス国内の演奏は、100回を超えたという。

第1楽章はエルガーの代名詞でもある「ノビルメンテ・エ・センプリーチェ」(高貴かつ素朴に)のモットー主題(反復主題)に始まる。第2楽章中間部はエルガーが「川岸においた時に耳にするような音」と言っ

たフルートとハープによる旋律が美しい。第3楽章の淡い光が差し込むような第2主題はエルガーの精髓。第4楽章はモットー主題が壮大に響き渡り、「未来に対する絶大な希望」(エルガーの言葉)を示し堂々と終わる。内面的な第2番と比べると、第1番は肯定的でより力強い作品となっている。

前回大友がこの曲を指揮したのは1998年11月の東響第453回定期演奏会。その後エルガーの4つのオラトリオを成功に導くなど、深化と熟成を重ねた大友が26年ぶりに指揮する交響曲第1番への期待は高まるばかりだ。

## エルガーとその音楽の魅力

サー・エドワード・エルガー(1857~1934)の作曲家としての原点は、教会のオルガニストでもあった父ウィリアムが経営する楽器店で様々な楽器や楽譜に親しんだことに始まる。

エルガーの音楽には、生涯にわたり献身的につくした妻アリスへの婚約のプレゼント「愛の挨拶」や生まれ育ったウスターの豊かな自然を反映した「弦楽セレナード」、エルガーの作風を代表する気品に満ちた交響曲、ウスター大聖堂で聴いた合唱曲にインスパイアされた壮大なオラトリオ、英国国王エドワード7世から絶賛された勇壮な「威風堂々」第1番、第一次世界大戦の暗い影を思わせるチェロ協奏曲まで、多彩な作品群がある。これらが統合されエルガー独自の世界が生まれたと言えるだろう。

今回の大友東響の第1番も、こうしたエルガーの多面性を知ること、新たな発見があるかもしれない。

# Together With TSO

for Music Lovers

## 東京交響楽団サポート会員

©Nikkegami

ご芳名 (敬称略)

### 法人会員

#### プラチナ会員

株式会社エイチ・アイ・エス  
株式会社ドワンゴ

#### ダイヤモンド会員

有限責任 あずさ監査法人  
株式会社伊藤総合事務所  
株式会社イノアックコーポレーション  
株式会社インサイド・アウト  
環境ステーション株式会社  
株式会社すかいらくホールディングス  
株式会社ティーワイリミテッド  
株式会社日本財託  
株式会社パソナグループ

#### ゴールド会員

株式会社青山メインランド  
株式会社あ佳音  
オリエンタル酵母工業株式会社  
サントリーホールディングス株式会社  
社会医療法人財団石心会  
玉川学園・玉川大学  
玉の肌石鹸株式会社  
中外製薬株式会社  
銚子屋油槽船株式会社  
株式会社TFDコーポレーション  
株式会社欽鋼ビルディング  
株式会社トーションパートナーズ  
西松建設株式会社  
株式会社NIPPO  
株式会社日本M&Aセンター  
ヒノキ新薬株式会社  
司法書士法人ふなざき総合事務所  
ミヨシ油脂株式会社  
ヤマザキビスケット株式会社

#### シルバー会員

株式会社NHKビジネスクリエイト  
公益財団法人青梅佐藤財団  
川崎信用金庫  
松竹株式会社  
月島食品工業株式会社  
東京鐵鋼株式会社  
司法書士法人村田事務所

#### ブロンズ会員

アーティス ホールディングス株式会社  
NPO法人かわさき市民アカデミー  
酒蔵駒八 別館  
株式会社シグマコミュニケーションズ  
新宿村スタジオ  
有限会社青史堂印刷  
ニッシンエレクトロ株式会社  
富士フィルムビジネス  
イノベーションジャパン株式会社神奈川支社  
前山歯科医院  
株式会社LALLヒューマンホールディングス

#### 賛助企業

東海大学教養学部 芸術学科音楽学課程  
政鬼運輸株式会社  
山崎製パン株式会社

匿名2社









## <東京交響楽団サポート会員制度>

東京交響楽団は、一流指揮者の招聘やチャレンジングなプログラミングによる定期演奏会の充実、次世代を担う子供たちの育成等、これまで以上に積極的な演奏活動を展開し、音楽文化の向上に努めて参ります。そのため不可欠な運営基盤の強化のため、広くご支援をお願いしております。みなさまのご入会を心よりお待ちしております。

### 個人会員

フレンズ1

年額1万円  
～29,999円

フレンズ3

年額3万円  
～49,999円

フレンズ5

年額5万円  
～99,999円

サークル10

年額10万円  
～249,999円

サークル25

年額25万円  
～499,999円

サークル50

年額50万円～

### 法人会員

東京交響楽団とのパートナーシップは、御社のイメージアップにつながるだけでなく、従業員の皆様の福利厚生にもつながります。

ブロンズ

年額10万円～

シルバー

年額30万円～

ゴールド

年額50万円～

ダイヤモンド

年額100万円～

プラチナ

年額1000万円～

会員特典	詳細はHP、 又はお電話でお問合せ下さい	法人会員				
		法人会員	サークル 会員	フレンズ5	フレンズ3	フレンズ1
主催公演へご案内		○	○			
ゲネプロ見学会(年3回以上)		○	○	○	○	
リハーサル見学会(年3回以上)		○	○	○	○	○
ご芳名掲載		○	○	○	○	○
主催公演チケット先行予約 <sup>*1</sup>		○	○	○	○	○
公演チケットをご優待価格にてご案内 <sup>*2</sup>		○	○	○	○	○

<sup>\*1</sup>一部対象外もございます。<sup>\*2</sup>東京交響楽団の主催公演およびミュージアムザ川崎シンフォニーホール主催公演が対象です。一部対象外もございます。

### 税制上の優遇措置について

東京交響楽団は内閣府より公益財団法人の認定を受けており、当楽団への御寄附には税制上の優遇措置が施されます。

◎個人の場合:「寄附金額から2,000円引いた金額」の40%分<sup>\*1</sup>について、税金(所得税・個人住民税)を控除されます。

また相続税にも控除が適用されます。

◎法人の場合:「損金算入限度額」が一定の算式に従い、拡大されます。<sup>\*2</sup>

<sup>\*1</sup>但し、各該当法令で定められた限度があります。

その他、マッチングギフトやご遺贈、相続ご寄付についてもご案内させていただいております。

公式サイトからクレジットカードでサポート会員にご入会(ご寄付)いただけます。

<http://tokyosymphony.jp/support/procedures.html>



サポート会員へのご入会・お問合せ TEL 044-520-1518

公益財団法人東京交響楽団川崎オフィス 支援開拓本部 E-mail [supporters@tokyosymphony.com](mailto:supporters@tokyosymphony.com)

# Meet the Musicians

楽団員紹介

北海道が生んだ、鳴動するベーシスト

## 安田 修平

YASUDA Shuhei

[コントラバス奏者]2007年10月入団

趣味: Disney+で海外ドラマを見ること



©N.Ikegami

### 好きが高じて音楽の道へ

父の友人に札幌交響楽団の奏者の方がいて、小学生の頃はその奥様のヴァイオリン教室に通っていました。私は身体を動かすのが好きだったので、中学校では運動部に入ろうと思っていたのですが、音楽の授業中「実は安田くんはヴァイオリン弾けます!」と友人にばらされたことをきっかけに、すぐに吹奏楽部の顧問の先生から呼び出されました。「ヴァイオリンやってたらコントラバスできるから、入部してくれ!」と(笑)。

最初はいいやや弾いていたコントラバスのことが好きになったのは、父に地元札幌の「第九」公演に連れて行ってもらったとき。第4楽章のコントラバスの活躍に衝撃を受けて一気にクラシックにのめり込みました。札幌首席の先生を紹介してもらい、愛情たっぷりの厳しいレッスンを受けていて、いつか先生と一緒にオーケストラで演奏をしたいと強く思うようになりました。高校時代は吹奏楽部もオーケストラも無かったので、第九、運命、新世界などのスコアを買ってパート譜を手書きで作成したり、カラヤン・ベルリンフィルのCDにあわせて弾いたりしていました。

大学は北海道教育大学音楽科に進学。大学4年生のときにパシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌(PMF)のオーディションに合格し、参加しました。参加者は音楽大学在学・卒業の方しかおらず、プロフィールに「〇〇音楽大学卒業」と書くのが

羨ましくて(笑)。学生時代に、世界各国の同世代の音楽家と、時間・音楽を共にできたことは、とても有意義で刺激的でした。

### ウィーン式の弓の持ち方

ウィーンに留学をしていた札幌の先生の教えで、楽器を始めた頃から元ウィーン音大教授のルートヴィヒ・シュトライヒャーさんと同じ弓の持ち方をしています。PMFでシュトライヒャーのお弟子さんであるウィーン・フィルのヘルベルト・マイヤーさんにレッスンをさせていただいた時に「何でその持ち方してるの?」と驚かれ、同じ流派ということですから仲良くなり、その後、弟子入りをさせていただきました。

同じドイツ式の持ち方にも違いがあるので、是非手元にも注目してください。



マイヤー先生と、ウィーンで。



客演首席・助川さんの弓の持ち方。東響のメンバーの多くが採用しているかたちです。



私の弓の持ち方。親指の向きが異なります。

インタビュー:事務局

# NEWS & TOPICS

楽 団 人 事

2024年7月30日付

阿部真弓 ABE Mayumi  
[第2ヴァイオリン奏者]

1987年に入団し、37年にわたり活躍いたしました。再雇用契約にて、引き続き第2ヴァイオリン奏者として活動いたします。



退 団

2024年7月31日付

竹内裕子 TAKEUCHI Yuko  
[財務本部]

今年も販売決定!

「東響オリジナルTシャツ2024 華 -Haru-」

昨年引き続き、「studio FLAT」所属アーティストとのコラボTシャツを今年も販売いたします。オンライン支店販売に加え、7/20(土)定期演奏会にて即売会を行います。



## NEXT PROGRAM

8/30(金) 角野隼斗×上野耕平 カプースチン・スペシャルナイト  
19:00 サントリーホール

ピアノ:角野隼斗、サクソフォーン:上野耕平  
サクソフォーン四重奏:The Rev Saxophone Quartet  
フルート:竹山 愛(東響首席)、チェロ:笹沼 樹(東響客演首席)  
指揮:大井剛史、管弦楽:東京交響楽団

《オール・カプースチン・プログラム》

8つの演奏会用エチュード より第1番、第7番、第8番

24の前奏曲 より第12番、第9番、第17番 (サクソフォーン四重奏版)

フルート、チェロとピアノのための三重奏曲

サクソフォーン協奏曲 ピアノ協奏曲第2番

S¥10,000 A¥8,500 B¥7,000

東響会員先行発売:7/8(月) 10:00 ~ オンラインチケット先行発売:7/12(金) 10:00 ~ 一般発売:7/16(火) 10:00 ~



8/31(土) 第723回 定期演奏会  
18:00 サントリーホール

指揮:原田慶太楼、ピアノ:角野隼斗  
ソプラノ:熊木夕菜、合唱:東響コーラス、合唱指揮:根本卓也  
上田素生:懐い記憶は夢となって  
ガーシュイン:ピアノ協奏曲 へ長調  
ペルト:主よ、平和を与えたまえー混声合唱と管弦楽のための  
プーランク:グロリアFP.177

チケット予定枚数終了



9/15(日) 第138回 新潟定期演奏会  
17:00 リゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館

指揮:アンドレアス・オッテンザマー、ヴァイオリン:中野りな  
ストラヴィンスキー:弦楽のための協奏曲 二調  
モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲 第5番「トルコ風」  
チャイコフスキー:交響曲 第1番「冬の日の幻想」

S¥7,500 A¥6,000 B¥4,500 C¥3,000 C¥2,000



# 東京交響楽団

川崎市フランチャイズオーケストラ  
新潟市準フランチャイズオーケストラ

公式サイト <https://tokyosymphony.jp>



1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に改称し現在に至る。サントリーホール、ミュゼ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行い、文部大臣賞を含む日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。新国立劇場のレギュラーオーケストラを務めるほか、川崎市や新潟市など行政と提携した演奏会やアウトリーチ、「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」等教育プログラム、ウィーン楽友協会をはじめとする海外公演も注目されている。さらに日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サブスクリプションサービスや、VRオーケストラ、電子チケットの導入などITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年12月には史上最多45カメラによる《第九》公演を配信し注目を集めた。

近年は、音楽監督ジョナサン・ノットとともに日本のオーケストラ界を牽引する存在として注目を集め、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」では2022年に《サロメ》が第2位、23年には《エレクトラ》が第1位に選出された。



Jonathan Nott began his tenure as the 3rd Music Director of the Tokyo Symphony Orchestra in 2014 season. The Tokyo Symphony Orchestra, together with music director Jonathan Nott, has been attracting attention as a leader in the Japanese orchestra world. "Elektra in Concert Style(2023)" won the 1st prize in the "Top 10 Concert 2023" following the 2nd prize of "Salome in Concert Style(2022)" on Ongaku no Tomo magazine as well as the Best Recording of Music Pen club Japan Award for Opera & Orchestra category and Tokyo Symphony Chorus, Orchestra' s amateur chorus also won the prize for Chamber & Chorus category.

Highlights of past seasons with Mo. Nott include Symphony 9 by Beethoven filmed by 45 cameras, the largest record of the orchestra history live-streamed nationwide, Gurre-Lieder by Schoenberg celebrating 15th Anniversary of Muza Kawasaki Symphony Hall, TSO' s home and Mozart' s Da Ponte Operas in concert style. In March 2020, the live-streamed concert without audience on nico-nico Live Channel which attracted more than 200,000 viewers nationwide, has been a mega-hit in Japan.

Outside of Japan, the orchestra has performed 78 concerts in 58 cities since 1976. The Tokyo Symphony Orchestra was founded in 1946 and has a reputation for giving first performances of a number of contemporary music and opera, and has been regularly performing various operas and ballets at the New National Opera Theatre, Tokyo since its opening in 1997.

マエストロ・シート  
【5組10名の小・中・  
高校生無料招待】



NICO NICO  
TOKYO SYMPHONY  
ニコニコ東京交響楽団



音楽・動画配信サイト  
【TSO MUSIC & VIDEO  
SUBSCRIPTION】  
1か月550円(税込)



このプログラムは見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサル・デザインフォントを使用しております。

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT PROGRAM  
**Symphony**

Symphony 2024年(令和6年)7月号[非売品]

発行 公益財団法人東京交響楽団 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 TEL 03-3362-6764  
<川崎オフィス> 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310  
ミュゼ川崎セントラルタワー5階 TEL 044-520-1518

Art Direction & Design : Be.To Bears 印刷 : NHKビジネスクリエイト